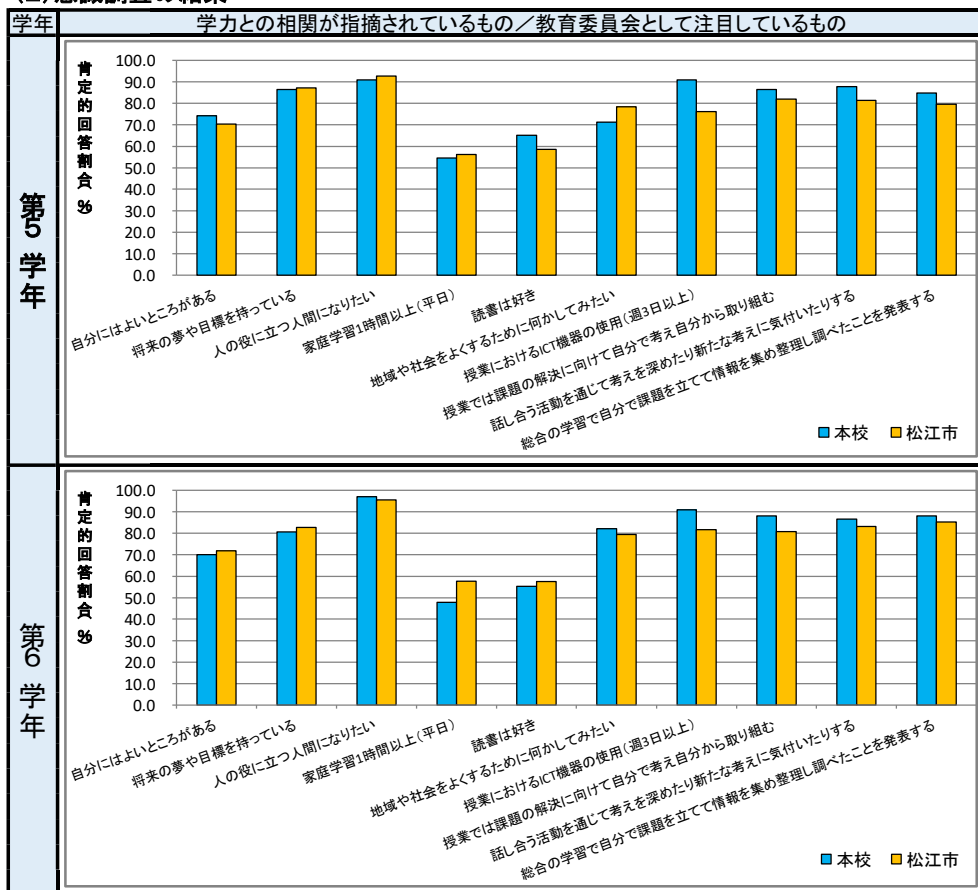


(1)教科調査の結果

学年	教科	分析(成果○/課題●)	改善策(・)
第5学年	国語	<p>成果 ○5年国語「話すこと、聞くこと」から、ペア活動やグループ活動を積極的に取り入れていることで、意見を言うことや聞く態度、注意して話を聞くことは概ね得意である。</p> <p>課題 ●5年国語では、複数の資料を関連させて必要な情報を読み取ることが課題。原因として、手順を追って考えることが苦手であると推測できる。</p>	<p>・国語だけに限らず、理科や社会などで複数の資料を扱うような教科においても言語活動を充実させる。</p>
	算数	<p>成果 ○計算会やプリント等で繰り返し取り組んだ学習については(基礎的な内容の中で偶数奇数を問う問題、かけざん、筆算)できる。</p> <p>課題 ●小数から分数に変えるなど、変換を要する問題は誤答が多かった。 ●2段階以上の手順を要する問題に苦手意識がある。(分数:帯分数→仮分数、通分) ●文章を読み解く力が不足している。 ●図形の角度を計算で求める問題が難しい。</p>	<p>・特にその単元でしか扱わない内容についての反復練習を行う。(朝学習、家庭学習) ・複数の段階を要する問題について、それぞれの段階の問題を練習して力をつける。 ・問題文の中でも読解力を付けるために算数の時間において、問題文において重要な語や数字を全体で確認する時間を取る。</p>
第6学年	国語	<p>成果 ○日ごろからICTを活用した学習活動により、視覚的情報を手がかりにして文章を読み取る問題には意欲的に取り組んでいた。また、読書をする時間を確保しているため、物語文の読解力は概ね力がついてきていると考えられる。</p> <p>課題 ●文章を読み取り、構成を考えたりすることに課題がある。また、長文の問題に対して、問題文全体を把握しようとするところへの心理的負担が大きく、課題に向かう意欲や集中の持続が難しい為、正答率の低下につながっていると考えられる。</p>	<p>・教材の文章全体を読んで、大まかに内容をとらえ、文章の内容や構成をつかむ学習活動に力を入れる。</p>
	算数	<p>成果 ○比の値・円の公式など単純な公式にあてはまる問題は解ける。 ○約分・通分はできる。 ○分数のかけ算・わり算はできる。 ○小数を分数に変換することはできる。</p> <p>課題 ●解答へ進むための手順が多い問題が苦手である。 ●問題文を読んで正しい考えたことが、正しい立式に結びつきにくい。 ●数値と文字式が一緒に出てくる問題が苦手である。 ●既習の知識の活用とその応用が難しい。</p>	<p>・基礎的な力をつけるため、授業の最初に簡単な計算を取り入れる。(たし算ピラミッドなど)。</p>

(2)意識調査の結果



＜傾向と今後の対策、分析＞

成果○:強み/伸ばしたい点 について  
課題●:弱み/改善を要する点 について

【第5学年】

- 今後も継続してICT機器を生かして話し合いや発表をしていく。
- 今後も継続してキャリアパスポートなどを活用してキャリア教育の充実を図る。
- 家庭学習時間/自学を充実させ、家庭学習時間の充実を図る。

【第6学年】

- 今後もICT機器を生かして話し合いや発表やキャリアパスポートなどを活用したキャリア教育の充実を継続していく。
- 今後も地域で働いている方との関わりを多くもち、子どもたちの意識を高めていく。
- 家庭学習時間・5年生と比べて6年生は家庭学習と読書が少ない。/自学を充実させ、家庭学習時間の充実を図る。

【R7学力調査受検者数】

第5学年	66	名
第6学年	67	名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示